NO.17 2011.8.20

歴史ロマン古道ニュース

【発行】歴史古街道団
ホームページ http://rekkodan.a.la9.jp/
本部 〒206-0013 東京都多摩市桜ケ丘 1-40-6 TEL 090-7002-3431 宮田 太郎（歴史古街道団 団長）
事務局 〒206-0002 東京都多摩市一ノ宮 4-7-10 TEL 042-373-7382 濱野 千秋（事務局長）

鎌倉幕府の砦跡（原峰公園）（東京都多摩市関戸六丁目）

いま甦る、古街道の記憶！
多摩は鎌倉街道で発展したまちだった！

10月30日（日） 9:30～16:00

都合により開催日を変更10月22日→10月30日

「関戸」は、鎌倉街道で発展した街、“多摩市”の本来の玄関口であり、中心地でした。かつて鎌倉時代には、天下にその名を轟かせた名関“霞ノ関”があり、鎌倉北條軍と新田義貞軍との「関戸の戦い」は有名です。『曾我物語』建久四年と五年には、源頼朝一行が関戸宿に泊まったことや「平将門が関を造営し迎え撃った藤原秀郷が霞ノ関と名付けた」とあります。また『曾我報恩謝徳物語』には曾我兄弟が関戸に宿泊（『多摩町誌』）とあり、『吾妻鏡』建暦三年の「武蔵国に新関を置く」記事など、関戸霞ノ関が古くから世に知られていたことがわかります。今でも最も古い鎌倉古道の痕跡が、点々と町田の原町田から府中まで続いていることが判っており、全国でも初めての「鎌倉街道」をテーマにした祭りの意義は大変に大きなものであると思われます。多摩市の「夢たま助成金」を受けて実施する時代再現祭り・「鎌倉街道“関戸・霞ノ関”まつり」を、実行委員長・岸宣克さん（関戸睦会代表）、事務局長・宮田太郎団長のもと、地域との協力で成功させましょう。

多摩市「夢たま助成金」事業
鎌倉街道“関戸・霞ノ関”まつり 開催！
実行委員長 岸 宣克 氏

Ⅰ．鎌倉街道ウォーク　9:30～16:00

（永山駅～多摩市役所～関戸熊野神社）

＊永山駅前交番脇の公園に９：30 集合

＜京王相模原線・小田急多摩線/永山駅・徒歩１分＞

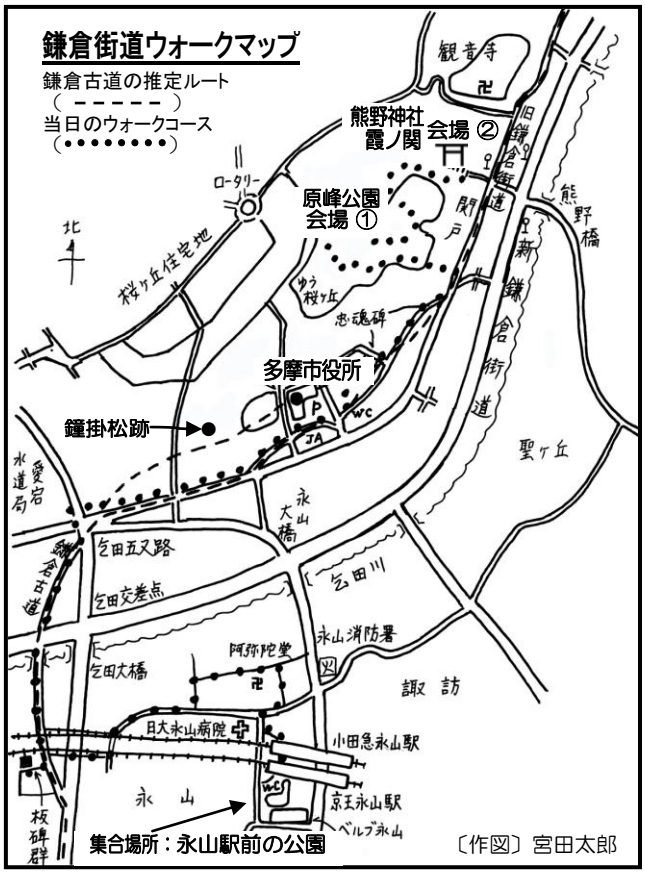
＊参加費（資料代）５００円　＊中学生以下無料

＊事前申込不要　当日受付

永山駅前から鎌倉古道を辿りながら関戸熊野神社（霞ノ関）に向かいます。コースにはガイドが付きます。途中には古街道団が作成した手作りのサインボードが道案内をしてくれます。

【コース】永山駅前～貝取の板碑～鎌倉古道乞田の辻～鐘掛け松跡～富士塚山～多摩市役所～原峰公園（関戸砦・各自弁当昼食・イベント会場①）～熊野神社（霞ノ関跡・イベント会場②）16：00解散

No.17



Ⅱ．歴史シアター時代再現

『よみがえる鎌倉幕府・北の最前線！
“関戸・霞ノ関” ものがたり』

《イベント会場と内容》

① 原峰公園　12:30～13:30
② 関戸熊野神社　14:45～16:00

1.時代再現：源頼朝と政子、新田義貞、曽我兄弟、横溝八郎、御家人たち、関番人らが登場予定。
2.関戸囃子が出演。熊野神社の山車や神輿も見られます。
3.地元の物産販売、鎌倉街道マップ販売、甘酒などを予定。

★当時の人々が登場し関所を目指し、また通過していく様子を再現。また多摩の語り部、関戸囃子、日舞のみなさんなどが出演予定。

＝ みなさまのご協力お待ちしています ＝

■サインボード取付作業 10月8日（土）13：00～17：00

【内容】サインボードほか作成・取り付け等、作業全般。

＊会場と詳細につきましては古街道団ＨＰやチラシでご案内いたします。また詳しくは宮田までお問い合わせください。（携帯０９０－７００２－３４３１）

■鎌倉街道“関戸・霞ノ関”まつりの準備会

【会場】多摩市関戸「熊野神社」境内の集会所にて

＊9月6日(火)17：00～19：00　＊10月17日(月)13：30～19：00　＊10月21日(金)、22日(土)9：00～17：00

鎌倉街道伝説を

いまも身近に残る中世の

2011年９月～

宮田太郎団長と行くロマンウォーク

ウォーキングガイドをする宮田団長（中央）

■2011年9月30日（金）
鎌倉古道伝説を歩く － ④
《関戸～中河原》

【内容】鎌倉街道の幹線道路である上ノ道（上道）を探索するシリーズは、いよいよ武蔵野へと入っていきます。天下にその名が轟いたという名関「霞ノ関」があった多摩市の関戸から、古戦場跡や家康の日光改葬の千人行列が河渡しの順番待ちで滞留したと言われている大栗橋へと向かい、多摩川を渡って府中市の中河原へと入っていきます。分倍河原古戦場の先はハケ（崖）を緩やかに上る陣街道が続きます。

【コース】京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」西口改札前に10：00集合～有山屋敷～霞ヶ関橋～いろは坂～関戸城址～天主台跡～金毘羅神社参道跡～ゆう桜ケ丘（各自弁当昼食）～阿弥陀寺～代官屋敷跡～観音寺（南木戸柵跡）～無名戦士の墓～佐伯屋敷～延命寺～横溝八郎の墳～関戸古戦場地蔵堂～大栗橋と鎌倉古道～多摩川～中河原の渡し～鎌倉古道と大國養魚場～京王線中河原駅。（解散 15：30頃）

■2011年10月30日（日） 9:30～16:00
鎌倉街道“関戸・霞ノ関”まつり ウォーク
～永山駅から関戸熊野神社まで～

鎌倉古道を辿り、関戸熊野神社（霞ノ関）に向かいます。

★参加費（資料代）500円　中学生以下無料

★事前申込不要　当日受付

【内容】永山駅前交番脇の公園に9：30集合～貝取の板碑～鎌倉古道乞田の辻～鐘掛け松跡～富士塚山～市役所～原峰公園（関戸砦・各自弁当昼食。会場①）～熊野神社（霞ノ関跡。会場②）（解散 16:00頃）

■2011年11月14日（月）
鎌倉古道伝説を歩く － ⑤

《武蔵国分尼寺と黒鐘公園～恋ヶ窪》

【内容】国分尼寺のほぼ中央を通っていたことが判明している鎌倉街道の痕跡。そのことにより、尼寺が廃絶した後の時代に、ここを通ることになったことがわかります。また東芝府中の正門前からの中央通路がほぼ鎌倉街道にあたることから、この工場は鎌倉街道を活かして、およそ道の左右から建物が建てられていったことも推測されます。

【コース】JR中央線「西国分寺駅」南口広場10：00集合～伝・祥応寺跡～黒鐘公園尼寺と鎌倉古道～文化財資料展示室～昼食（各自弁当）～国分寺～武蔵国分寺跡資料館～お鷹の道湧水～東山道武蔵路跡～鎌倉街道跡～東福寺～姿見の池の東山道発掘現場跡～熊野神社～鎌倉街道跡～ＪＲ西国分寺駅。（解散 15：30頃）

■2011年11月29日（火）
ヤマトタケル草薙剣の物語と古代・相武国（さがむのくに）の謎

～相模川沿岸の首長たちの古墳群を歩く～

【内容】かつて7世紀始め頃までは、「相武国（さがむのくに）＝相模川沿岸の海老名・茅ヶ崎・厚木・平塚一帯」と「師長国（しながのくに）＝酒匂川流域の足柄平野・国府津・二宮一帯」の二つがあって、大化の改新以降にまとめられて相模国になったと考えられています。また古事記には、はっきりと「さがむのおの＝相武の小野」でヤマトタケルが火攻めに遭って有名な草薙剣を振るったことが記されています。古代相武国に地方王権があって、やがて大和政権に従属していった証が、我々古街道団が関わってきた「高松山古墳」ではないでしょうか。今回は“相武国首長一族の王墓の丘”と名付けた丘を探索します。

【コース】小田急線「本厚木駅」中央改札口9：45集合～路線バスで船子～地頭山古墳～八幡神社～東京農大～防災の丘公園（ホウダイヤマ古墳跡、各自弁当昼食）～毛利台吾妻神社と仮称：毛利台吾妻神社古墳跡～諏訪神社～高松山古墳（発掘現場跡）～宮地バス停～本厚木駅。（解散 15：30頃）

■2011年12月6日（火）

鎌倉古道伝説を歩く － ⑥《小平～九道の辻 》

【内容】鎌倉古道（鎌倉街道上ノ道）を追って小平の二ツ塚から東村山に入っていきます。恋ヶ窪は本当は国府（こう）の水源である窪地のことではなかったでしょうか。鎌倉街道の目印となった？謎の二つ塚、玉川上水にかかる「鎌倉橋」付近では、新たな推定路を津田塾大の裏手に辿ります。有名な古道が九方向に伸びる「九道の辻」までをたどります。

【コース】西武国分寺線「鷹の台駅」改札口前に10：00集合～小平中央公園～玉川上水「九右衛門橋」～上鈴木稲荷と推定鎌倉古道、二つ塚跡～鎌倉橋～石塔ヶ窪～複数のファミレスで自由昼食～ブリジストン東京工場前の鎌倉古道～九道の辻～西武国分寺線「小川駅」または西武多摩湖線「八坂駅」または「東村山駅」へ。（解散 15：30頃）

ウォーキングの共通参加事項

◆参加費＝団員700円（ご夫婦は 2 人で 1,000 円）一般は1人 1,000 円。

◆持ち物＝雨具、飲み物持参。昼食は飲食店利用の場合と各自弁当の場合がありますので詳細は各案内参照。

◆雨天の場合は基本的には中止（ただし小雨の場合実施することがあります。朝7：30までに実施の有無をお問い合わせ下さい。

【お問合先】宮田団長の携帯電話 090-7002-3431 まで

☺ 歴史シアターとは？

現地に立って、当時の歴史の風景や、人々の姿・想いを感性で感じること。

歩いてみよう－②

街道沿線の歴史探索

2012年2月　行事予定

八国山将軍塚

■2012年2月4日(土)
鎌倉古道伝説を歩く　－　⑦
《東村山将軍塚～所沢　》

【内容】鎌倉古道を追跡するシリーズはいよいよ狭山丘陵を北の埼玉県側に乗り越えます。古代道の東山道武蔵路発掘で八国山の将軍塚を目指して測量と設計がなされていたことが判明しており、将軍塚の近くでは試掘調査も行なわれています。実際にどのあたりを乗り越えたか、鎌倉街道とはどういう関係にあるのかについても検証してみます。

【コース】西武国分寺線・新宿線「東村山駅」改札口前10：00集合～浅間塚と鎌倉道～中金研修会館前の古道～東村山駅（駅周辺で自由昼食。イトーヨーカ堂、ファミレス、中央公民館あり）～府中街道から分かれる旧鎌倉街道～諏訪神社～ふるさと歴史館～熊野神社と富士塚～勝陣場橋～久米川古戦場～八国山将軍塚～勢揃橋～路線バスで東村山駅または所沢駅。（解散 15：30頃）

講演会・座学講座

■ 2011年9月23日(金・祝)　13:30～15:30

歴史シアター鎌倉街道

『語ろう！話そう！鎌倉街道と鎌倉武士の時代』❷

①特別講演　**『知るほど楽しい鎌倉時代』**

〇講師：多賀譲治先生(玉川大学講師・玉川学園研究員・日本文化財保護協会顧問)

②質問と語り合い･･･多賀先生と会場参加者

＊会場：多摩市総合福祉センター7F（701 研修室）
最寄駅：小田急多摩線「唐木田駅」徒歩８分　尾根幹線沿い
（多摩市南野３丁目 15-1　☎042-356-0303）

＊会費：団員800円　一般1，000円

＊申込：当日受付　先着90名

■ 2012年2月29日(水)

鎌倉武士団と鎌倉街道―❶

『平山季重伝説と小山田一族の謎』

〇講師：宮田太郎

【内容】かつて関東平野全体に広がっていた12世紀後半の鎌倉武士団の拠点の数は約370地点以上。それぞれに土地の名前を名乗る一族郎党が棲み活躍していました。中でも多摩丘陵周辺は上州（群馬）の中心地に続いて武士団の集中する地域。この武士たちは普段はどんな生活をし、どんな活躍をしたのかについて、日野市の平山季重（義経に従軍して一ノ谷合戦などで活躍した有名な武将）と小山田重成ほか兄弟（鎌倉幕府の重臣として、また牧の管理や幕府における流鏑馬や弓馬の師匠として活躍した人々）についてお話します。

＊会場・時間/未定　　＊会費/団員500円　一般700円

バスツアー

ドラマ「おひさま」ロケ地
-安曇野-

① 日帰りバスツアー

2011年 **9月16日(金)**

『安曇野の“おひさま”街道と湧水の里の歴史探訪！』

【内容】信州安曇野はこの時期がそばの花が盛りです。NHK朝の連続ドラマ「おひさま」のロケ地になった湧水の里をめぐりつつ、安曇野古道、塩の道、穂高神社や信濃富士で知られる有明山山麓などをゆっくりと散策しましょう。

【集合地】聖蹟桜ヶ丘駅西口改札前に7：40集合

【コース】聖蹟桜ヶ丘駅前～中央道国立ＩＣ～長野自動車道（バス車中にて各自昼食）～豊科ＩＣ～大王わさび農場（ロケ地）と清流ゴムボート体験～穂高神社～大庄屋近くのロケ地～国営アルプスあづみの公園～安曇族の牧～有明神社と周辺の遺跡～長野自動車道豊科ＩＣ～中央道国立府中ＩＣ～聖蹟桜ヶ丘駅。（解散 18：30頃）

【参加費・その他】

〇参加費：6，700円（バス代、保険代）

＊昼食代・入場料・清流ゴムボート体験900円は各自負担

〇申込締切＝2011年9月3日（定員28名＊先着順）

② 日帰りバスツアー

2012年 **1月14日(土)**

“縁起の良い古代遺跡で初詣で！”

『 国内最大！上総国市原の国分尼寺と謎の国府跡　』

千葉県市原市「五所深覧城塚の鎌倉街道」

【内容】すでに古墳時代には房総に11の小王国があり、日本国内でも古墳の最も多い地域でした。それらが一つにまとまった最大の中心地域が、市原の上総国府付近。全国でも最古級の卑弥呼時代の古墳群や、古代道・鎌倉街道・茂原古道と遺跡を探っていきます。古代施設跡や万葉集に詠われた古社と幻の国府跡推定地など、知られざる上総の歴史ロマンを探索していきましょう。

【集合地】JR京浜東北線・南武線「川崎駅」改札口前広場・びゅうプラザ前に8：30集合

【コース】川崎駅前～海ほたる～市原ＩＣ～村上諏訪神社古墳群～史跡上総国分尼寺跡と展示館～国分寺跡～東日本最古の神戸古墳群～昼食（市原市内）～市原郡家推定地～国府跡・阿須原神社の古代道探索～立野の鎌倉街道探索→頼朝の御所覧塚～館山自動車道・姉崎袖ヶ浦ＩＣ～海ほたる～ＪＲ川崎駅。（解散１８：00頃）

【参加費・その他】

〇参加費：6，300円（バス代、保険代）

〇申込締切＝2012年1月6日（定員28名＊先着順）

☆申込は宮田団長まで/(メール)kokaido@r3. dion. ne. jp
(FAX)042-719-6336　(携帯)090-7002-3431

☺ 会場決定について…講演会・学習会の会場は、公民館などの公共施設を利用しています。予約は6ケ月前または2ケ月前に申し込み後、抽選になります。会場のお知らせが遅くなりますが、決定次第、HPやチラシ等でお知らせしますのでよろしくお願い致します。ご参加お待ちしています。

ガイド・リーダーと行く史跡探索

恒例！サンデーウォーキング
多摩よこやまの道を歩こう！

【東コース】9月11日(日) 11月13日(日) 1月8日(日)
京王相模原線「若葉台駅」集合(9:30)～京王多摩車庫方面へ
【西コース】10月9日(日) 12月11日(日) 2月12日(日)
小田急多摩線「唐木田駅」集合(9:30)～①京王堀之内駅方面または②京王多摩境駅方面へ
連絡先：須知正度
☎ 090-3695-7580

●8月24日(水)
第２回布田道を歩く
（稲城編）（7/20 が台風で中止のため再企画）
ガイド：横田泰次（団員）
【コース】京王相模原線「若葉台駅」改札前集合（９：３０）～JR「矢野口駅」又は京王「読売ランド駅」（15：30 頃解散）
※詳細は 16 号に掲載済

●2011年9月7日(水)
第３回 布田道を歩く（調布編）
（江戸道・小野路道）
ガイド：横田泰次（団員）
【内容】幕末期、天然理心流の剣術を教えに、近藤勇達が小野路村まで通った布田道を辿る旅も最後になりました。多摩川を越え、近藤勇生家跡、勇の墓所のある龍源寺などを訪ねます。
【コース】京王相模原線「京王多摩川駅」南口改札前集合（9：30）～矢野口（下菅）渡船場跡～角川大映撮影所（旧大映撮影所前）～古天神跡～布田道・品川道の交差地～（調布駅付近で昼食）～旧甲州街道～小島一里塚～バスで龍源寺～（三鷹市大澤）～野川公園～近藤勇生家跡～調布飛行場付近（調布市野水）～味の素スタジアム付近～飛田給駅
（15：30 頃解散）
連絡先：横田泰次　☎090-8516-3041

●2011年10月10日(月・祝)
下総国府・国分寺の古道と古代祭祀を探る
ガイド：田口俊弥（団員）
【内容】下総国は奈良・平安朝廷にとって東国からの租税や物資の輸送基地として、また蝦夷国への前哨基地として地理的に重要な位置を占めていました。今回は最新の発掘結果を元に、下総国府周辺の古道と官道、そして下総国分寺下を流れる川筋で当時行われていた祭祀遺跡（北下遺跡）を訪ねます。
【コース】JR総武線「市川駅」改札口前集合（9：30）～バスで「国分」下車～瓦窯跡～北下遺跡～下総国分寺～須和田遺跡～国府台スポーツセンター（各自弁当昼食）～下総国府～真間山弘法寺～真間の手児奈霊堂～真間山下の奈良・平安古道跡～小岩・市川関所跡～春日神社～JR 市川駅（16：00 頃解散）
連絡先：田口俊弥　☎090-6536-3580

ガイド・ウォークの共通参加項
・参加費＝団員/500円　一般/700円
・当日現地申込　・弁当・雨具持参

●2011年11月2日(水)
大山街道の長津田宿と伯楽谷戸の散策
ガイド：三浦里美
【内容】江戸時代、長津田宿は大山参りで賑わいました。渡辺崋山も歩いた道の風情が今もところどころに残っています。また長津田は岡野融成（板部岡江雪斎）が領した地でもあり、ゆかりの場所を訪ね、昔の風景が感じられる貴重な伯楽谷戸を歩きます。
【コース】JR横浜線「長津田駅」改札口集合（9：30）～長津田下宿～大林寺～お七稲荷～王子神社（長津田上宿）～大石神社～御野立所～セントラルパーク（弁当昼食）～伯楽谷戸（天王社、林地蔵、伯楽谷戸集落）～福泉寺～長津田駅(14:30 頃解散)
連絡先：三浦里美　☎080-5069-3103

●2011年12月18日(日)
東京・湯島界隈を散策 ～町田・図師村と深い関わりのある古刹を訪ねる～
ガイド：小菅　勲（団員）
【内容】湯島にある霊雲寺は、徳川五代将軍綱吉が建てた寺で、その寺領100石は、私の住む図師村の一部でした。春日局の墓がある麟祥院、将門ゆかりの神田明神など湯島界隈の古刹・神社を訪ねて歩きます。（昼食は弁当または飲食店利用も可。）
【コース】JR中央線「御茶ノ水駅」聖橋口改札口集合（10：00）～湯島聖堂～神田明神～霊雲寺～麟祥院～湯島天神～妙極院～根津神社～地下鉄湯島駅または根津駅
（15：30 頃解散）
連絡先：小菅　勲　☎090-5556-1182

サガム(相武)の国の歴史ロマン

神奈川県下を流れる相模川。その下流域の両沿岸（海老名市、厚木市、平塚市、茅ヶ崎市など）には7世紀末に相模国が出来るよりはるか以前から、サガム国＝相武国があった（先代旧事本紀の中の国造本紀による）といわれています。初代国造やその一族が４世紀の始め（古墳時代前期初頭）には厚木周辺に於いてすでに活躍し、ヤマト王権の形式を引き継ぐ前方後円墳が幾つも造られ始めていったことでしょう。岡津古久古墳、地頭山古墳、ホウダイヤマ古墳、愛甲大塚古墳、小金塚古墳など周辺には当時の古墳の存在が数多く知られています。しかし、関西には低地や低丘陵上に古墳が多いのに比べ、関東では丘陵山頂型古墳が多いことが一般的にはまだ認識されておらず、神奈川にも未発見の古墳がまだ多く眠っていることは、逗子丘陵で新たに桜山古墳が発見された（１９９８年）ことがよく物語っています。独立丘陵の最高位置にあって見晴らしが良く、明治天皇もお立ちになった高松山こそ、最も首長層の墓の所在地にふさわしいのかもしれません。

『古事記』に記された、ヤマトタケルノミコト（倭建命）が土地の豪族から火攻めの難に遭ったとき、あの有名な草薙の剣を振るって逃れたことを詠んだ弟橘媛の歌には「さねさし　さがむ（相武）のおぬ（小野）～」とあり、厚木の小野こそ相武国の中心地だったのではないかと考える説は昔からありました。しかしいつの間にか日本書紀に記された駿河国焼津説が知られることとなり、厚木説はどうしたことか忘れられていったという経過があります。

（宮田太郎）

●2012年1月20日(金)
大姫と木曽義高
悲恋の鎌倉を訪ねる

ガイド:松本英明(団員)

【内容】木曽義仲を警戒した源頼朝は、人質を要求し、義仲の長男清水冠者義高を鎌倉にさし出させた。名目は頼朝の長女大姫との婚約の為としたが、六歳の大姫は義高を未来の夫と信じこんだ。だが朝廷の信任を失った義仲は義経の率いる東国軍に攻め滅ぼされ、義高も追われる身になった。政子や大姫により助けられ、館を脱出した義高だが、追手がかかり、入間川の畔で斬られた。大姫は食を絶って衰弱し、廃人のような生活を続け、19 歳で亡くなり、岩船地蔵堂に祀られている。義高の首は常楽寺の丘の頂上に葬られている。今回のウォークは許嫁の仲を裂かれた二人の哀れな死を悼み、供養の合掌をしたいと思います。

【コース】JR 横須賀線「大船駅」南口改札集合(10:00)～鎌倉湖行きバス乗車～常楽寺バス停～常楽寺～義高塚～高野切通し～六国見山～円覚寺(各自弁当昼食)～長寿寺～亀ヶ谷切通し～岩船地蔵堂～浄光明寺～寿福寺～鶴岡八幡宮
(15:30頃解散)

連絡先:松本英明 ☎090-1255-3807

●2012年2月21日(火)
王禅寺・柿生の里を歩く

ガイド:鈴木宗一(団員)

【内容】稲荷前古墳群の前方後方墳で都築地方を一望してから王禅寺を訪れます。いかにも古刹の雰囲気を感じさせる境内には北原白秋が訪れたときの歌碑、香具師の親分の墓や禅寺丸柿の原木があります。ダルマ市で有名な麻生不動院を訪れてから全国でも非常に数の少ない月読神社で謎の月読命に想いを馳せ、そのあと義経の家来・亀井重清の館跡など麻生の里を散策します。

【コース】東急田園都市線「市が尾駅」西口集合(10:00)～市が尾横穴古墳～稲荷前古墳群～バスで子の神神社～琴平神社～王禅寺～王禅寺ふるさと公園(各自弁当昼食)～稲荷神社～麻生不動院～月読神社～亀井城址～浄慶寺～小田急線「柿生駅」(15:00頃解散予定)行程約6.5㌔

連絡先:鈴木宗一 ☎090-6172-8481

☺今回は、好評連載中の「多摩の昔ばなし」はお休みします。

2011年度定期総会終了
今年度の活動方針と新運営委員体制決まる

第7回定期総会は、5月29日(日)午後1時30分から、出席者54名、委任状提出者58名のもと永山公民館ベルブホールで開催されました。会則にのっとり宮田団長が議長となり、2010年度の一般活動報告および決算、会計監査報告がなされ、承認されました。今年度の活動方針、予算案と会則の一部改定(「役員」という名称を「運営委員」に変更)が提案され、異議なく承認されました。総会終了後、第2部は、宮田団長による講演「頼朝と政子・その愛」と題し、その出会いから人生終焉までの真相を、現地調査、研究から判明した史実について団長独自の歴史解釈が展開されて一同大変興味深く聞きました。(第2部の団長講演会参加者68名。うち一般14名)

今年度の活動計画

①歴史情報、観光情報の収集と発信拡充を図り、開かれた地域史フォーラム(広場)としての団体をめざす。②町田市から府中市まで行政域を横断して、鎌倉古道に対する関心を高める活動を行う。③歴史古道フットパスの普及と啓蒙活動を行う。④鎌倉街道上ノ道を歴史遺産として残す活動を行う。⑤仮称「高松山古墳」の保存活動を行う。

2011年度運営委員会

○顧問:藤田道男　今野耕作
○会計監査:石井卓治　○団長:宮田太郎　○副団長:藤田一彦
○事務局長:濱野千秋　○事務局次長:須知正度　○運営委員:田口俊弥　中尾勝義　八木原杲子　遠藤邦江　斎地カズエ　須永洋子　山崎ひろ子　中村敬子

「防人見返りの峠標柱」の修復工事　団員の手で完了！

設置以来早いもので7年を経過し経年劣化が目立ち始めていた「防人見返りの峠標柱」でしたが、佐藤文俊さんの音頭で小菅勲さんの指導のもと、有志11名により2011年5月9日に修復工事、同16日に仕上げ工事を行い修復工事が完了しました。

標柱は「さきもりまつり」のモニュメントとして団が2005年11月に設置したものであり、団員の「心の拠り所」と言っても過言ではないものです。今後も3～5年の周期で修復工事を行い、団の永遠の存続のためにも伝承に努めていきたいものです。

修復前　縦に亀裂が入る。　工事中　修復後　元通りに！

新規入団者募集！

☎入団に関するお問い合わせは、事務局・濱野まで ☎042-373-7382

➲会員の方で、2011年度の会費未納の方は年会費3,000円を9/30までに納入願います。

【振込先】☆口座名/歴史古街道団
☆郵便振替口座番号
00140－7－445195

歴史古街道団から義援金送金

東日本大地震・津波で被災された地域の早期復興を祈念し、被災された方々へ哀悼の意を表しまして日本赤十字社を通して義援金を送る手続きを行いました。ささやかではありますが、平成23年7月1日に予算通り2万円を、ゆうちょ銀行から送金手続きしました。

《お知らせ》11/27(日)開催予定　★みなさまのご参加お待ちしています
『鎌倉古道を歴史遺産として活かす会』発足大会　協力:歴史古街道団

【内容】このたび、町田市に今も残る鎌倉古道跡である原町田～七国山～野津田公園～小野路までを、未来に歴史遺産として残し伝えるために活動する有志の会が設立されることになりました。歴史古街道団団長・宮田太郎と町田市観光コンベンション協会事務局長・徳尾和彦氏が呼び掛け人となり、7月現在、15名ほどで準備会が始まっています。会の事務局は町田市観光コンベンション協会内にあります。鎌倉古道遺跡の一部は将来「国の重要文化財」として登録されることも視野に入れています。この趣旨にご賛同される方、興味のある方のご参加をお待ちしております。

【会場と時間】町田市原町田商店街のいずれかの会場(室内)にて開催予定。どなたでもお気軽にご参加下さい。
＊会場の決定は9月中旬。＊参加無料。
＊お問い合わせ：町田市観光コンベンション協会・徳尾さんまで。
TEL：042-724-1951

高松山古墳発見から試掘調査までの経緯（概略）

宮田団長が2000年2月に、その形状と頂上部より採取した土器片から、前方後円墳ではないかと確信し、厚木市教育委員会などにその確認と保存について提言をつづけてきた高松山古墳（仮称）は、発見から11年を経過しようやく試掘調査によりその姿を現しつつある。

神奈川県や厚木市などへ働きかけを行い、試掘にまでこぎつけたのは、高松山の麓に住み、古代史を研究している島口健次さんが組織した「高松山古墳保存運動」の力があったればこそである。ここに発見から今までの「歴史古街道団」と「高松山古墳保存運動」の活動を報告する。

1999年12月
宮田団長、厚木市毛利台より高松山を遠望し、人工的な地形の可能性を感じた。

2000年2月28日
宮田団長、高松山へ登り、その形状と頂上部より採取した土器片から、前方後円墳であることを確信。

2000年3月5日
宮田団長と当時小学生だった娘さんと二人で高松山山頂の簡易測量を実施

2000年3月
厚木市教育委員会文化財担当者および神奈川県教育委員会文化財担当者に、電話で、高松山が古墳の可能性があることと、現地調査を依頼。

2000年4月29日
歴史街道探検隊（歴史古街道団の前身）による高松山古墳見学会実施。

2003年2月4日
厚木市教育委員会・文化財担当者に面談し、高松山の調査実施を再度依頼。

2006年3月14日
歴史古街道団による高松山古墳、小野の小町神社をテーマにウォーキング実施。

2009年4月12日、4月22日
歴史古街道団による高松山古墳および周辺古墳をめぐる実地踏査会実施。

2009年5月5日、6日
歴史古街道団が、測量会社の協力により高松山古墳の精細なデジタル測量を実施。

2009年7月1日
歴史古街道団による「厚木の古墳を知ろう」をテーマに地頭山古墳、愛甲大塚古墳などをめぐるウォーキング実施。

2009年
厚木市教育委員会に再々度現地調査を依頼したところ、担当者より「県と市の専門家が複数現地調査をしたが、遺物は表面採取でも一切拾えなかった。形状も古墳とは思えない自然地形である」との回答あり。

2010年3月7日
地元の方々を対象に、歴史古街道団が主催した高松山古墳（仮称）見学会を実施。島口健次さん（厚木市毛利台在住）が参加し、ご本人は「高松山が古墳である可能性が高い」ことを確信された。

2010年11月
島口健次さんは、地元県会議員や厚木市議会議員に対し、高松山古墳の文化遺産としての価値を訴えた。また神奈川県および厚木市の教育長、および文化財行政を直接担当している課長に対し、県と市による高松山古墳の調査を要望する文書を提出。

2010年11月8日
神奈川県および厚木市の文化財を担当する部局合同の調査を実施したが、「高松山は、遺物の発見も無く、遺構もなく、自然にできた形状であって、古墳ではない。」との結論であった。

2010年12月6日
厚木市議会において、佐藤市議より「高松山をしっかり調査されたい。」と質問したところ、平井教育長より「しっかり調査する」との答弁があった。

2011年2月3日
地元有志により「高松山古墳保存運動」を発足。代表者・島口健次さん。

2011年2月17日
神奈川県、厚木市、高松山古墳保存運動、歴史古街道団による四者合同の高松山古墳現地視察会を実施。

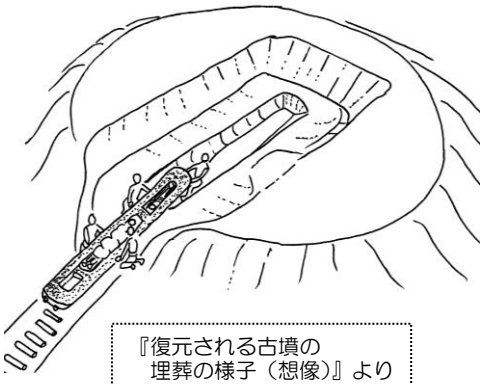
ついに判明！

厚木・高松山古墳は古代・相武国の存在

大塚初重先生視察（左から３人目）
2011.6.13

一般現地説明会（中央・北條芳隆先生）
2011.6.25

2009年から2011年に掛けて、わたしたち古街道団が実地踏査し、測量を行い、その存在を訴えてきた神奈川県厚木市愛名にある「仮称・高松山古墳」が厚木市によって試掘調査され、当初よりの主張通り、古墳時代前期の前方後円墳ということが遂に判明いたしました！――新聞5紙でも報道され、地元神奈川県内では知られた事実となってきました。今後はこの古墳と高松山の行く末を見据え、この山に愛着を持たれる地元の方々や「高松山古墳保存運動（島口健次代表）」、保存と活用を推進する市・県・国、自治会、地権者、まちづくり団体などに対して支援し、無意味な開発行為で山や古墳が破壊されることがなく、地域の心の拠り所となるように温かく見守っていきたいと思います。


『復元される古墳の埋葬の様子（想像）』より
文・図/北條芳隆先生
（★宮田太郎が模写）
くりぬき式の約８㍍の長さの木棺を、墓壙の途切れた南側から搬入する。墓壙の中央に掘られた溝の床に粘土を貼り付け、その上に木棺を据える。
＊図は後円部の埋葬想像図

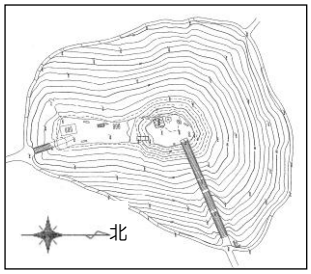
2000年当時、現地に未確認の前方後円墳の存在を考えた理由はいくつかありました。この厚木市小野や愛名一帯は、相模大山の真東にあたり、かつての相模湾河口（本厚木や海老名本郷付近）まで見渡せる見晴らしの良い丘陵が広がる交通の要衝でした。まず第一の好要因として、古墳時代前期頃は、古東海道が東西方向に通過（平塚の公所～伊勢原の比々多～岡津古久峠～小野～海老名～茅ヶ崎）しています。さらには、丹沢山系の山裾に沿って古代以来の「海の民と、山の民の交流の道＝関東山の辺の道」が、ここ高松山と毛利台の間を南北に走り、双方が交差するのが高松山山麓となる訳です。

丘陵山頂型の“前方後円墳”だった！

を裏付ける古墳時代前期の首長墓か！？

宮田 太郎

毛利台から見る高松山（正面）　左後方は大山



高松山実測図を左写真と同じ方向から見る

現地説明会で参加者に説明する宮田団長（右端）

【高松山古墳】神奈川県厚木市愛名、市中心部から西へ約4㌔の位置。歴史古街道団が2009年5月に測量した結果、標高146.5㍍、山頂部を中心にほぼ南北方向で造られた形状は、標高140㍍ラインを古墳の最下部と考えると全長64㍍、前方部長34㍍、後円部長30㍍、前方部表面高と後円部の頂部の比高差は2.7㍍ということが判明した。

古墳確認の日の思い出

厚木には古墳時代で最も古い古墳がまだ眠っているかもしれない――熱い思いがつのり、1999年の年の瀬、厚木での仕事中に意を決して、山陰の毛利元就の先祖が誕生した「毛利台（神奈川県厚木市毛利台）」の高台に立ったのだった。対岸に、冬枯れの木々に彩られた一本の尾根上のハイキングコースが見える。一番高い「高松山」山頂に、明らかに前方後円墳の形状が見えた時の強い衝撃と感動は今でも忘れることが出来ない。（写真上、矢印の間が高松山古墳）

そして、翌年の2000年2月28日、高松山の山麓で古道跡の踏み跡（断面に残された古道の硬化層）が林の中に確認できた。大昔から山の上に多くの人々が通っていた景色が見えてきたようであった。さらに急な階段を上り始めると、山頂に戦艦のような大きな船が載っているように山の上が逆に反り上がっているのが見えた。押さえきれない胸の高鳴りを感じつつ南側の巻き道から山頂に上がる。その時、明らかな前方部のコーナーと思われる同一規格の角の地形を二箇所で確認。「明らかに設計された人工地形だ！」と思わず叫んでしまったのだった。そして前方部の地表には、時代は不明だが散乱する小さな土器片を確認。後円部と思われる高台（高松山山頂＝標高147㍍）に立つと、360度大展望できる独立峰であることに気が付いた。冬だからか遠くまで見える景色の素晴らしさもさることながら、全体が前方後円墳形であると確信するに及んで、いよいよ目頭が熱くなってしまったのを覚えている。まるで永い眠りについていた相武国王の墓に、初めて出会ったような湧きあがる感動に、しばし我を忘れて立ちすくんでしまった。その直後に、後円部の隅で見慣れない不整形の土器片を表面採取。その後（2000年3月5日）に、全体像をつかむべく小学生の一番下の娘と二人でメジャーを持って簡易的に実測を行なったのであった。また大磯の高麗山はぴたりと真南にあたり、さらには埼玉県の高麗本郷（巾着田と高麗郡衙跡）も真北にあることに気が付く。666年頃、大磯に高麗若光一行が亡命上陸し、50年後に「北をト（ぼく）して」埼玉県に移住していった際のライン（高麗若光ライン。関東山辺の道の基準線）のまさに測量台としての“再利用”も想像出来たのであった。

厚木市の仮称・高松山古墳は、2011年6月13日の大塚初重先生一行の試掘現場の視察にて「明らかな前期古墳である」と判断され、記者発表を行い、そして6月25日の一般公開現地説明会開催など、めまぐるしい進展がありました。これでやっと仮称・高松山古墳からは「仮称」が取れたことになります。長い文化財保護運動に、やっと一応の決着が着いたとも言えますが、直前まで真剣に取り扱おうとはしなかった厚木市の文化財側から当方へは遂に何のコメントもなかったのは残念なことでした。今後の「保存と活用」までを考えると、まだ初めの一歩が始まったところと言えるでしょう。

2011年3月18日
神奈川県と厚木市による合同調査実施。土師器片が20点ほど表面採取された。

2011年4月10日
学識経験者による現地実地踏査が実施された。そのメンバーは、東海大学 北條教授、同 近藤教授、東京国立博物館 望月研究員、神奈川考古学財団 柏木研究員、伊勢原市教育委員会　立花係長の5名。北條教授は自身のブログで、「高松山は前期古墳の特徴が見られ、岡山県の造山古墳の形状によく似ている」と発言。

2011年5月30日
約1ヶ月間の予定で厚木市による試掘調査が開始された。

2011年6月11日
「高松山古墳保存運動」主催の第1回歴史シンポジウムを厚木市西の南毛利公民館で開催、県および市の議員も多数参加された。（講演：宮田太郎団長）

2011年6月13日
明治大学 大塚初重名誉教授、国立民族博物館 広瀬和雄教授が発掘現場を視察。東海大学 北條芳隆教授の説明を聞き、両氏とも「古墳時代前期の前方後円墳に間違いがない。今後しっかりとした発掘調査が必要」との見解を示した。

2011年6月22日
厚木市教育委員会より高松山試掘調査について記者発表を行った。「前方後円墳の遺構を発見した。後円部地下からは木棺の可能性もある炭化物も発見された。」

2011年6月25日
厚木市教育委員会による一般市民対象の発掘現地説明会が開催された。地元住民ら180名が参加した。

2011年6月26日
「高松山古墳保存運動」主催による第2回歴史シンポジウムが厚木市七沢の玉川公民館にて開催され、その関心の高さで、会場満席となった。（講演：宮田太郎団長）

歴史古街道団予定表（2011年8月後半～2012年2月）

注）（団）＝歴史古街道団　【宮田】＝宮田太郎ウォーク　【学】＝講演会・学習会　【ガイド】＝ガイドリーダーウォーク

月日	集合場所･時間	探索･学習テーマ	参加費	申込み	問合せ先
8月24日(水)	京王相模原線「若葉台駅」改札口前09:30	【ガイド】布田道②　(稲城編) ～若葉台駅から矢野口駅または京王読売ランド駅～	団員:500円 一般:700円	当日	(団)横田 TEL090-8516-3041
8月27日(土)	多摩市立関戸公民館大会議室(VITA8F)13:30～	【学】歴史シアター講座。①講演:『鎌倉街道の歴史と文学』 講師:小野一之先生　②研究発表:宮田団長	団員:800円 一般:1000円	当日 先着90名	(団)宮田 TEL090-7002-3431
9月　7日(水)	京王相模原線「京王多摩川駅」南口改札前09:30	【ガイド】布田道③（調布編）　～江戸道･小野路道～	団員:500円 一般:700円	当日	(団)横田 TEL090-8516-3041
9月11日(日)	京王相模原線「若葉台駅」改札口前09:30	【ガイド】定期ウォーキング 「多摩よこやまの道を歩こう！ 東コース」	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 TEL090-3695-7580
9月16日(金)	京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」西口改札口前07:40	【日帰りバス】 『安曇野の“おひさま”街道と湧水の里の歴史探訪！』	6,700円 (バス代・保険代)	〆切9/3 先着28名	(団)宮田 TEL090-7002-3431
9月23日 (金･祝)	多摩市総合福祉センター7F、701研修室13:30	【学】“2011年　鎌倉街道を知るシリーズ” テーマ『語ろう！話そう！ 鎌倉街道と鎌倉武士の時代②』 講師:多賀譲治先生	団員:800円 一般:1000円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
9月30日(金)	京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」西口改札口前10:00	【宮田】鎌倉古道伝説を歩く④《関戸～中河原》	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
10月　9日(日)	小田急多摩線「唐木田駅」改札口前09:30	【ガイド】定期ウォーキング 「多摩よこやまの道を歩こう！ 西コース」	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 TEL090-3695-7580
10月10日 (月･祝)	JR総武線「市川駅」改札口前09:30	【ガイド】下総国府･国分寺の古道と古代祭祀を探る	団員:500円 一般:700円	当日	(団)田口 TEL090-6536-3580
10月30日(日)	京王相模原線･小田急多摩線「永山駅」交番脇の公園9:30	【まつり】鎌倉街道“関戸･霞ノ関”まつり	大人：500円 中学生以下無料	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
11月　2日(水)	JR横浜線「長津田駅」改札口前09:30	【ガイド】大山街道の長津田宿と伯楽谷戸の散策	団員:500円 一般:700円	当日	(団)三浦 TEL080-5069-3103
11月13日(日)	京王相模原線「若葉台駅」改札口前09:30	【ガイド】定期ウォーキング 「多摩よこやまの道を歩こう！ 東コース」	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 TEL090-3695-7580
11月14日(月)	JR中央線「西国分寺駅」南口広場10:00	【宮田】鎌倉古道伝説を歩く⑤ 《国分寺市尼寺と黒鐘公園～恋ヶ窪》	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
11月27日(日)	町田市内の予定 (9月中旬に決定見込み)	【発足大会】『鎌倉古道を歴史遺産として活かす会』	無料	問合せ	町田観光コンベ徳尾 TEL042-724-1951
11月29日(火)	小田急線「本厚木駅」中央改札口9:45	【宮田】ヤマトタケル草薙剣の物語と古代･相武国(さがむのくに)の謎　～相模川沿岸の首長たちの古墳群を歩く～	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
12月　6日(火)	西武国分寺線「鷹の台駅」改札口前10:00	【宮田】鎌倉古道伝説を歩く⑥《小平～九道の辻》	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
12月11日(日)	小田急多摩線「唐木田駅」改札口前09:30	【ガイド】定期ウォーキング 「多摩よこやまの道を歩こう！ 西コース」	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 TEL090-3695-7580
12月18日(日)	JR中央線「御茶ノ水駅」聖橋口改札口集合10:00	【ガイド】東京･湯島界隈を散策 ～町田･図師村と深い関わりのある古刹を訪ねる～	団員:500円 一般:700円	当日	(団)小菅 TEL090-5556-1182
1月　8日(日)	京王相模原線「若葉台駅」改札口前09:30	【ガイド】定期ウォーキング 「多摩よこやまの道を歩こう！ 東コース」	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 TEL090-3695-7580
1月14日(土)	JR「川崎駅」改札口前(びゅうプラザ前)08:30	【日帰りバス】“縁起の良い古代遺跡で初詣で！” 『国内最大！上総国市原の国分尼寺と謎の国府跡』	6,300円 (バス代・保険代)	〆切1/6 先着28名	(団)宮田 TEL090-7002-3431
1月20日(金)	JR横須賀線「大船駅」南口改札集合10:00	【ガイド】大姫と木曽義高、悲恋の鎌倉を訪ねる	団員:500円 一般:700円	当日	(団)松本 TEL090-1255-3807
2月　4日(土)	西武国分寺線・新宿線「東村山駅」改札口前10:00	【宮田】鎌倉古道伝説を歩く⑦《東村山将軍塚～所沢》	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
2月12日(日)	小田急多摩線「唐木田駅」改札口前09:30	【ガイド】定期ウォーキング 「多摩よこやまの道を歩こう！ 西コース」	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 TEL090-3695-7580
2月21日(火)	東急田園都市線「市が尾駅」西口集合10:00	【ガイド】王禅寺･柿生の里を歩く	団員:500円 一般:700円	当日	(団)鈴木 TEL090-6172-8481
2月29日(水)	未定。１２月頃古街道団ＨＰおよびチラシでお知らせ	【学】鎌倉武士団と鎌倉街道―①『平山季重伝説と小山田一族の謎』　講師:宮田太郎団長	団員:500円 一般:700円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431

＊３月の予定行事(詳細は次号掲載)…3/6(火)ガイドウォーク・町田の古刹を歩く（安藤）　3/11(日) 多摩よこやまの道を歩こう/東コース（須知）
3/24(土)団長ウォーク・義経の妻と今若伝説の向ケ丘の謎を探る（宮田）　3/31(日)多摩のよこやまの道/花見で歩こう（須知）

編集後記　東日本大震災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。
今夏も暑い毎日が続いていますが、みなさまどのようにお過ごしでしょうか。９月からの行事予定をお届けします。今年は、「防人まつり」はお休みして、10月に「第１回鎌倉街道まつり」を実施します。多摩市の地元の方々と協力して楽しいまつりにしたいと計画中です。ご参加お待ちしています。（金子・遠藤）

【発行】歴史古街道団
本部：〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘 1-40-6
宮田太郎(歴史古街道団団長) TEL 090-7002-3431
http:// rekkodan.a.la9.jp/

印刷/東洋印刷工業社　TEL042-773-2546